

東中野駅東口周辺まちづくりに関する意見交換会等の結果概要等について

昨年度実施した東中野駅東口周辺まちづくりに関する意見交換会及びアンケート調査の結果概要及びその結果を踏まえた今後の東中野駅東口周辺におけるまちづくりの検討の方向性について取りまとめたので報告する。

1 これまでの経緯

東中野駅東口については駅舎のバリアフリー化を求められているが、過年度に行った調査により、既存の駅舎を活用した対応は困難との結論に至っている。更に、東中野駅東口周辺は、「駅とまちとの結節機能が十分でない」、「空地や低層建物が多く存在しており土地の有効活用が図られていない」などの課題がある。区では、これらの課題を解消するためのまちづくりの検討の方向性を定めるにあたり、地域の声を反映するため、意見交換会やアンケート調査を実施した。

2 意見交換会及びアンケート調査の実施内容及び結果概要

別紙のとおり

3 意見のまとめ及び今後のまちづくりの検討の方向性について

別紙のとおり

4 今後の取組について

東中野駅東口周辺を対象とした、まちづくり基本方針の策定に向けた検討を行う。

東中野駅東口周辺まちづくり

～意見交換会及びアンケート調査の結果概要と

今後のまちづくりの検討の方向性について～

(1) 区民等との意見交換会

○開催日時等

日時	参加人数	場所
令和4（2022）年11月10日（木）19：00-	14名	東中野区民活動センター
令和4（2022）年11月13日（日）10：00-	6名	

○寄せられた主な意見

項目	まちの課題	まちの魅力
居住環境	ムーンロード内の空地管理 災害時の避難場所がない	気取りのない、居心地の良い静かな まちの環境 地域社会の雰囲気・住民相互のつき あい
にぎわい	商店の構成が不満 ムーンロードの魅力と可能性が 活かしきれていない	個性的・魅力的なお店 娯楽施設、ムーンロードなどの商店 街 盛んな地域活動
公共施設	駅周辺に交流の場・施設がない 小中学校が遠い 公園・遊び場が少ない	子育て施設が増えている 駅から離れているが、交流施設があ る（東中野区民活動センター）
交通	東口駅舎でのバリアフリー化 道が狭い・歩きにくい・まちの バリアフリーが不足 駅南北の回遊性が不足 駅前のゆとりがない	新宿への近さ 公共交通利用環境の高さ 自動車交通量が少ないため、歩行者 や自転車の移動はしやすい
自然環境	神田川の魅力はあるが、まちの 良さとして活かしきれていない 坂のある土地の魅力を活かしき れていない	神田川沿いの魅力 土地の条件（南東向きの斜面地）

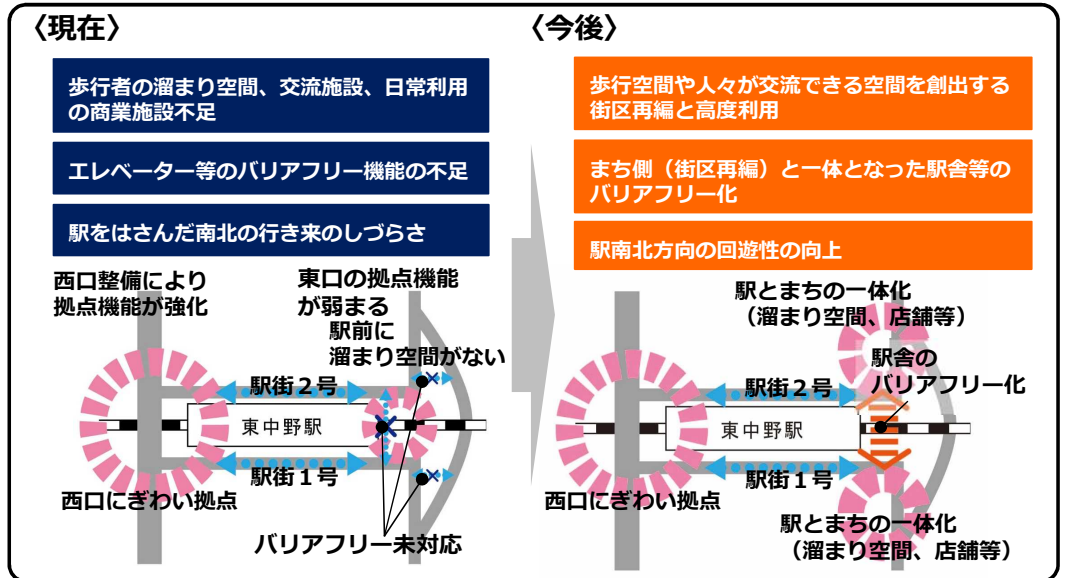
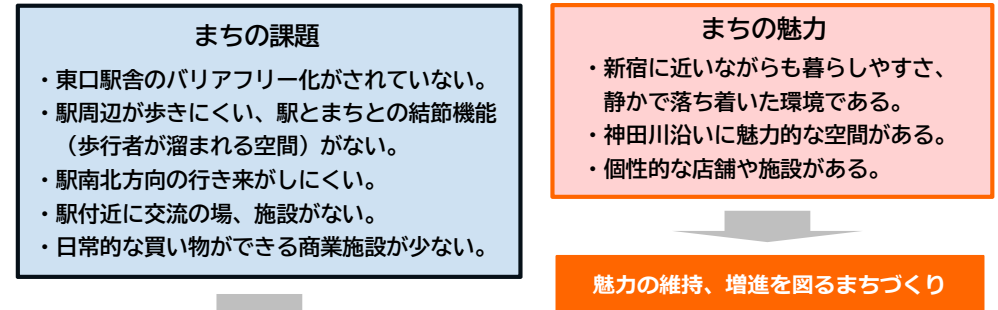
(2) アンケート調査

○実施概要

項目	内容	
配布・周知方法	ポスティング、中野区公式ホームページ	
配布範囲	東中野一、四、五丁目各地内	
回答方法	①アンケート回答用紙に記入し、返信用封筒にて返送 ②Web上の専用回答フォームにて回答	
回答期間	令和5（2023）年1月18日～2月3日	
回答数	回答数	438件
	Web回答	170件
	紙回答	268件

(3) 意見のまとめ及び今後のまちづくりの検討の方向性について

○意見交換会とアンケート調査結果から導き出せる、「まちの課題」、「まちの魅力」



○アンケート集計結果

①現在の満足度、今後の重要度

○満足度が低く、重要度が高い項目

- 東口駅舎及び駅周辺の歩きやすさ、バリアフリー化
- 駅南北方向の回遊性（快適に行き来しやすいこと）
- 駅周辺とまちとの結節機能
- 災害時の安全性や防災に関する施設の整備状況

○満足度は低くはないが、重要度が高い項目

- 都心近くにありながら、居心地の良い静かな環境
- 日常的な買い物等の店舗・商業施設の立地状況

②今後のまちづくりにおいて必要な都市の基盤

- 東口駅舎へのバリアフリー機能の整備
- 駅南北の歩行回遊性を向上させるための基盤整備
- 駅からまちへの円滑な歩行者動線の確保

③まちの個性や特徴として大切にしたいもの

- 静かで落ち着いた雰囲気のまち
- 子どもにも高齢者にも優しいまち